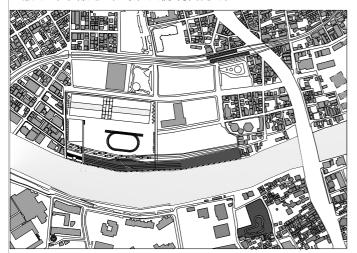
# 知との共生

### 22世への教育施設

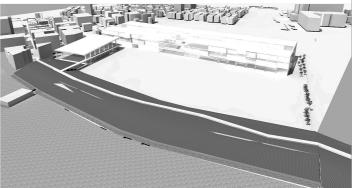
敷地:東京都足立区千住大橋 再開発地区





真伏亮太 建築設計計画研究

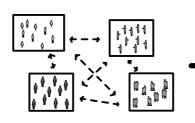
外観パース



#### □コンセプト

教育とはなんなのだろか?

教育とはそもそも生きる力を身につけ養い、育んでいくものである。教育というというものは今の日本社会では小学校から始まり高校、大学教育で一旦の終止符が打たれる。近年では生涯教育がようやく定着しつつある。しかし、その各々の教育はぞれぞれが独立しているのが現状である。そこで私は小中高一貫校教育を主体とする一生涯教育施設が必要だと考えました。



それぞれが独立して閉鎖的な ため各教育(学校)同士のつな がりが弱い



一つにまとめる事でそれぞれの教育につながりが生まれその中で多世代間でのコミュニティが発生しやすくなる

#### □プログラム

平面計画としては1階を特別教室郡としこの特別教室を一般へと貸し出しを社会教育の場として活用し、地域の方を講師として迎え地域全体としての学校となるようにした。2、3階は学生の場となっており教室や講義室となっており授業にも集中できる構成とした。外部空間においては南側の土手から体育館でブリッジで結び、また体育館を半地下と土手から観客席へと入りやすくした。



## □デザイン

私は階がわかれているため多世代のコミュニティも分離してしまっているのだと考え、階段自体を共有しそれをコミュニティの接合部とすることにしました。これにより平面で完結していた学校に断面がつながるひとつの学校となった。教室のボリュームを直線上に配置をするのではなくそれぞれをずらして配置することにより各教室の雰囲気がお互いにまざることで学校全体の空気を産み出すことができると考えました。

